

2013年7月4日（木）～7日（日）

礼文島花ウォーキングと利尻山登山

～7月4日（木）羽田・稚内・香深～ レポート by 能勢

今回は、3泊4日で花の浮島 礼文島の花ウォーキングと日本百名山にも選ばれた利尻山登山を企画、吉松さん、高橋(雄)さん、川島さん、布目さん、小山さん、小野寺さん、能勢夫妻が参加し、8名の大パーティとなった。



それぞれ利尻山登頂の期待と一日で標高差1500mを登る不安を抱え、10：00に羽田空港 第2ターミナルに集合。予約してくれた吉松さんから航空券を受取りチェックイン。



11：00発ANA571便に搭乗、ほぼ満席の状態であった。

稚内空港（写真右手前）着陸前に、めざす利尻島（上中央奥）と礼文島（上右奥）がうっすらと見えた。



稚内空港に定刻の12：55に倒着、ゴマフアザラシが出迎えてくれた。



稚内から礼文島・香深行きのフェリーは乗り継ぎが悪く3時間待ちになる。宗谷岬に行きたいところだが、時間に余裕がなく、しかもフェリーが最終便、そこでリスクを避け、観光案内所のお勧めで1時間半のジャンボタクシーでの市内観光となった。

8人で7900円はお得感がある。



稚内公園にある「開基百年塔・北方記念館」海拔240mの展望台からは、稚内市内や、利尻礼文、サハリンまで一望出来るようだ。



稚内公園で参加者8人が勢揃い！



「九人の乙女の碑」

‘45年8月、旧ソ連軍の侵攻により自ら命を絶った真岡郵便局の9人の女性交換手の慰霊碑です。



樺太島民慰霊の碑「氷雪の門」

樺太で亡くなった人々の慰霊のために1963年に建立されたそうです。



稚内公園に咲くアルメリアの花



漢字表示で「野寒布岬」
うっすらと後ろに利尻島、礼文島が
見え隠れしていた。
残念ながらサハリンは見えなかった。



山頂には雲がかかっているが、遠く海上に利尻山が見える。



イルカのモニュメントと稚内灯台、
紅白のストライプは、北海道では雪の
白さで灯台が舟から見えにくくなら
ないように配慮されているそうだ。



「稚内港北防波堤ドーム」

‘63年波よけように建設された全長427m、高さ13.6m、70本の円柱が連なる半アーチ型ドーム、古代ローマを思わせる構造物である。



「稚泊航路記念碑」 ちはくと読む。

1945年の終戦まで日本領だったサハリンへ連絡船が就航していたようだ。



稚内港北防波堤ドーム前で、ほほ笑む女性5人。

ここに鉄道の引き込み線があったようで、その車輪が展示されていた。



一日に3便しかなく、本日の最終便・稚内 16:15 発のフェリーに乗込んだ。2等は、ほぼ満席、良い席が取れず、早速、デッキに出てビールを一杯。



川島さんの船酔いも治まり元気に手を振る。



頂上の雲は切れないが、利尻富士がハッキリ見えてきた。



能勢(邦)さん、布目さんは、何を指差しているのか・・・



稚内からフェリーで約2時間、礼文島・香深港に18:10到着。
民宿の手配で迎えに来たジャンボタクシーで民宿に向かう。途中、岬を過ぎると海は荒れていた。

海の向こうには利尻島が見えている。



ジャンボタクシーの運ちゃんは、昨年「北のカナリアたち」のロケで訪れた吉永小百合の話で舞いあがり、宿を通り過ぎてしまった。
やはり吉永小百合の魅力は凄い。
写真は、本日お世話になる「民宿はまなす」、我々の泊まる2部屋はオーシャンフロントであった。



一風呂浴びて、6時から夕飯の時間、残念ながら海が荒れていて漁に出られなかったとのこと、楽しみにしていたウニ（写真左下の小鉢）は僅かで、ウニ丼は無理。

これが最後で明日は食卓には出ないそうだ。



明日は、いよいよ花の礼文島、好天を祈り乾杯、
午後10時には全員おとなしく就寝。